

地方小委員会の概要と意見

- (1) 北海道地方小委員会
 - 一般国道5号（北海道横断自動車道）倶知安余市道路（共和～余市）
- (2) 関東地方小委員会
 - 一般国道6号 牛久土浦バイパス（Ⅱ期）
 - 一般国道246号 厚木秦野道路（伊勢原西～秦野中井）
- (3) 北陸地方小委員会
 - 一般国道41号 大沢野富山南道路
- (4) 中部地方小委員会
 - 一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）熊野道路
- (5) 近畿地方小委員会
 - 一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）すさみ串本道路
- (6) 九州地方小委員会
 - 一般国道497号（西九州自動車道）松浦佐々道路
 - 一般国道10号 高江拡幅
- (7) 沖縄地方小委員会
 - 一般国道58号 那覇北道路

北海道地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成26年3月5日（水）9：45～11:10

□場所

札幌第一合同庁舎 2階 講堂

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
うすい じゅんこ 臼井 純子	(株)富士通総研 取締役	○
【委員長】 かがや せいいち 加賀屋 誠一	室蘭工業大学 理事・副学長	○
こしざわ あきら 越澤 明	北海道大学大学院 教授	○
たかむき いわお 高向 巖	(社)北海道商工会議所連合会 会頭	
たむら とおる 田村 亨	北海道大学大学院 教授	○
ひらおか よしゆき 平岡 祥孝	札幌大谷大学 教授	
ふるや あつみ 古屋 温美	室蘭工業大学 准教授	○
やまざき みきね 山崎 幹根	北海道大学公共政策大学院 教授	

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- ・一般国道5号（北海道横断自動車道）倶知安余市道路（共和～余市）

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道5号（北海道横断自動車道）倶知安余市道路（共和～余市）】

- ・真冬で雪が積もっていて、現在の国道が通れず代替路を想定する場合の役割などにも留意することが、広域的なネットワーク効果の観点から重要。
- ・北海道の場合は本州と違い、都市間距離も長いので、医療面で言えば、高次医療施設への搬送時間の短縮ができて、この地域にとってこの道路ができる意味は大変大きい。
- ・計画段階評価の区間がフルに整備ができればいいのだが、その途中段階でもかなり大きな期待があることが本日の議論でわかった。特に経済的な面、あるいは、災害の問題への対策は非常に重要。
- ・開通するまでの期間を一般的に10年とすると、観光面で言えば、2020年のオリンピックの5年後になるので、その時の日本の状況が見通しづらく、その中で、道路ができて、人が来ないのではもったいないので、地域のポテンシャルを最大化するため、路線の使われ方を地域と共有し、地域と共に将来の姿を描きながら事業を推進するよう、今から検討しておいたほうが良い。

□結論

一般国道5号（北海道横断自動車道）倶知安余市道路（共和～余市）の新規事業化については妥当である。

関東地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成26年3月7日（金）18:30～20:00

□場所

九段第三合同庁舎 15階 A～C会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
(委員長) 石田 東生 (いしだ はるお)	筑波大学大学院 システム情報工学研究科教授	○
石渡 恒夫 (いしわた つねお)	社団法人 神奈川経済同友会代表幹事	○
久保田 尚 (くぼた ひさし)	埼玉大学大学院 理工学研究科教授	○
小濱 哲 (こはま てつ)	横浜商科大学 貿易・観光学科教授	○
中村 文彦 (なかむら ぶんひこ)	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院教授	
二村 真理子 (ふたむら まりこ)	東京女子大学 現代教養学部国際社会学科准教授	○
牧野 昌子 (まきの まさこ)	特定非営利活動法人 ちば市民活動・ 市民事業サポートクラブ代表理事	○
味水 佑毅 (みすい ゆうき)	高崎経済大学 地域政策学部観光政策学科准教授	

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- ・一般国道 6号 牛久土浦バイパス（Ⅱ期）
- ・一般国道246号 厚木秦野道路（伊勢原西～秦野中井）

□議事概要（各委員からの主な意見）

【一般国道6号 牛久土浦バイパス（Ⅱ期）】

- ・現在、一般国道6号が混雑しているだけでなく、周辺の細街路に一般国道6号の混雑を避けて迂回交通が入り込んでいる状況であり、整備の必要性が高い。

【一般国道246号 厚木秦野道路（伊勢原西～秦野中井）】

- ・今回の新規事業化候補箇所は、国道246号の渋滞緩和だけでなく、事業中区間と一体となって新東名と東名を繋げ、大規模災害時の救助・救援ルートとしての重要な役割を担うと考えられるので、このような視点も整備効果に加えるべき。

【その他全般】

- ・地元との協議状況、地元の熱意などを選定の指標とできないか今後、検討してほしい。
- ・事業中区間を含めた、B/Cを算出することは良いことだが、更なる検討事項として、調査中区間のコストの精度は落ちるかもしれないが、調査中区間も含めたネットワークとして評価することも重要。全国レベルでの議論が必要ではないか。
- ・既に都市計画決定までされている事業について、新規事業採択時評価の段階で計画段階評価として、しいて代替案を立案し、比較評価を行うことは不自然であるため、そのやり方について今後、検討が必要ではないか。

□結論

一般国道 6号 牛久土浦バイパス（Ⅱ期）
一般国道246号 厚木秦野道路（伊勢原西～秦野中井）
の新規事業化については妥当である。

北陸地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成26年3月4日(火) 16:45~18:00

□場所

北陸地方整備局 長岡国道事務所 大会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いしくろ あつこ 石黒 厚子	(財)北陸経済研究所地域開発部 主任研究員	○
おおかわ ひでお 大川 秀雄	新潟大学 工学部 建設学科 教授	○
さの かずし 佐野 可寸志	長岡技術科学大学 環境・建設系 准教授	○
ながお はるあき 長尾 治明	富山国際大学 現代社会学部 現代社会学科 教授	○
なかやま しょういちろう 中山 晶一郎	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 准教授	
はやし きよみ 林 紀代美	金沢大学 人間社会研究域 人間科学系 准教授	○
【委員長】 まるやま きゅういち 丸山 久一	長岡技術科学大学 環境・建設系 教授	○
まるやま ゆか 丸山 結香	(有)MAX・ZEN Performance Consultants 代表取締役 (マックス・ゼン パフォーマンス コンサルタンツ)	○

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- ・一般国道41号 おおさわのとやまみなみ 大沢野富山南道路

□議事概要（各委員からの意見）

【事業について】

- ・この地域は富山市内でも一番雪が多い地域であるが、大型車がすれ違えない、路肩の積雪により歩行者が車道を歩いている等の問題がある。また、非常に混雑していて、通行時に危険を感じた事が何度かある。本道路の整備により、生活交通と通過交通を分離することで現道の交通安全が図られ、近隣から富山市へのアクセス性が向上し、物流の効率化も図られる。
- ・国道41号は、北陸地域の内陸部に向かう他の国道に比べ整備が遅れている印象であり、本道路は早期整備が必要。
- ・高齢化と人口減少が進むこの地域において、地域の維持、活性化のためのインフラ整備は重要である。本道路の整備により、地域の利便性が向上し、企業や人口の増加に繋がる可能性があるため、早期に完成することが重要。
- ・防災・減災と並んで「命を守る道の整備」は重要だと考えている。その意味で本道路は重要な事業だと思う。医療格差を無くす事業として、もっとアピールしてはどうか。
- ・本道路の整備により、終点付近にある富山県広域消防防災センターのアクセス性が向上し、利用しやすくなる。
- ・産業面で富山が現在の強みを活かし発展していくために、スピード感を持って本道路を整備することが重要。

□結論

一般国道41号 大沢野富山南道路の新規事業化については妥当である。

中部地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成26年3月7日（金）17:00～17:55

□場所

中部地方整備局 7階大会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
うちだ としひろ 内田 俊宏	三菱UFJリサーチ&コンサルティング エコノミスト	○
おおくぼ 大久保 あかね	常葉大学・大学院経営学部 教授	
【委員長】 おおの えいじ 大野 栄治	名城大学都市情報学部 教授	○
おがわ ひかる 小川 光	名古屋大学大学院経済学研究科 教授	
たかぎ あきよし 高木 朗義	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授	
なかむら ひでき 中村 英樹	名古屋大学大学院工学研究科 教授	○
ほんぶ けんいち 本部 賢一	四日市大学環境情報学部 准教授	
みうら もりゆき 三浦 司之	(社)中部経済連合会 常務理事	

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- ・一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）熊野道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）熊野道路】

- ・ 東紀州（紀南）広域防災拠点まで高速道路ネットワークが接続され、救援時の陸上ルートが確保される効果は、非常に大きい。
- ・ 熊野道路の整備により、伊勢地域（伊勢神宮等）を越え、東紀州地域まで足を伸ばす観光客が増え、観光面に資する。
- ・ 熊野道路だけでなく、残りの熊野から紀宝まで未事業化区間をつなげることの意義は十分あるので、是非整備すべき。
- ・ 熊野道路だけでこれだけの効果があるので、残りの未事業化区間を整備し、ネットワーク効果を発現できるようにすべき。

□結論

一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）熊野道路の新規事業化については妥当である。

近畿地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成26年3月5日（水）10:00～11:00

□場所

近畿地方整備局 新館 3階 A会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
うらお 浦尾 たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役	
かわもと 川本 義海	福井大学大学院工学研究科 准教授	○
たまおか 玉岡 かおる	作家 兵庫県教育委員	○
なかせ 中瀬 勲	兵庫県立人と自然の博物館 館長 兵庫県立大学 名誉教授	
ふじい 藤井 聡	京都大学大学院工学研究科 教授	○
むねた 宗田 好史	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授	○
【委員長】 やました 山下 淳	関西学院大学法学部 教授	○

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- ・一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）すさみ串本道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）すさみ串本道路】

- ・南海トラフ巨大地震等の災害時において、いのちを守る道路として緊急性が極めて高い道路。
- ・津波発生時などに緊急的な避難場所としての効果も大きい。完成までの間も、避難場所として活用できる様、工事の順番を工夫すべき。
- ・和歌山県は、高齢化率の高い地域であり、福祉や医療水準を上げていくためにも、この道路の効果は非常に高い。
- ・大阪、和歌山の中心市街地からも遠い地理的な問題がある中で、高齢化をどう食い止め、若者が帰って来てくれるのか、地域の活性化のためにも道路が必要。
- ・高速道路整備と合わせて、高台移転など新たな街づくり、災害後の復興を行っていく上で、重要な道路。
- ・津波高は確保されているが、山岳地域を通過することから、法面崩落、土砂災害、地震の揺れ等によって、通行出来ない様なことにならないよう、構造に配慮して整備すべき。
- ・大阪都市圏、中部都市圏と繋がる近畿全体の広域ネットワークとしても重要な路線。
- ・高速ネットワークは、繋がってこそ意味がある。紀勢線全体に対して効果を期待しており、残る区間の早期完成に向けて努力すべき。

□結論

一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）すさみ串本道路
の新規事業化については妥当である。

九州地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成26年3月6日（木） 15:30～18:00

□場所

東福第2ビル 1階 第1会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いづみけんこ 泉 健子	鹿児島大学 名誉教授	○
いとう ときこ 伊藤 解子	北九州市立大学 都市政策研究所 教授	○
おおえだ よしなお 大枝 良直	九州大学大学院 工学研究院 准教授	
おぐら よしと 小倉 義人	大分経済同友会 代表幹事	
おさ やすろく 長 安六	佐賀大学 名誉教授	○
かさい ひろし 河西 宏	(株)長崎経済研究所 専務取締役	○
たつみ ひろし 辰巳 浩	福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授	
まつお しんご 松尾 新吾	九州経済連合会 名誉会長	
【委員長】 みぞかみ しょうし 溝上 章志	熊本大学大学院 自然科学研究科 教授	○
よしたけ てつぶ 吉武 哲信	九州工業大学大学院 工学研究院 教授	

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- ・一般国道497号（西九州自動車道）松浦佐々道路 まつうら さざ
- ・一般国道10号 たかえ 高江拡幅

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道497号（西九州自動車道）松浦佐々道路】

- ・B/Cに現れない効果大きい。松浦佐々道路により、福岡から松浦・平戸、佐世保・ハウステンボスとつながってくると新しい大きな魅力ができ、大きな経済効果も期待できる。
- ・国防の観点からも有事の際に大きく貢献すると思われる。
- ・平戸市の一部の教会は、世界遺産登録に向けて準備を進めているところであり、松浦佐々道路は大きく貢献すると思われる。
- ・魅力的で豊富な観光資源を活かすための道路として観光面の波及効果大きい。

【一般国道10号 高江拡幅】

- ・通過交通や沿線からの多くの車両の流入により、慢性的に渋滞している状況。
- ・緊急医療施設も少なく、周辺市町からの第三次医療施設などへの緊急輸送時に高江地区の渋滞で時間がかかり心配していたが、4車線拡幅は救急医療にも貢献できると期待される。
- ・大分市の通勤通学における車の利用は多く、4車線拡幅により通勤通学時間の短縮にも大きく貢献できる。

□結論

一般国道497号（西九州自動車道）松浦佐々道路
一般国道10号 高江拡幅
の新規事業化については妥当である。

沖縄地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成26年3月6日(木) 10:00～11:30

□場所

沖縄総合事務局(4階) 事業審査室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
【委員長】 ありずみ やすのり 有住 康則	琉球大学工学部教授	○
きたはら しゅういち 北原 秋一	沖縄キリスト教学院大学人文学部特任教授	○
こうち ゆうこ 幸地 優子	オフィス遊代表	○
たちはら かつのり 立原 一憲	琉球大学理学部准教授	
なかざ はじめ 名嘉座 元一	沖縄国際大学経済学部教授	○
はら ひさお 原 久夫	琉球大学工部准教授	○
まえどまり ひろもり 前泊 博盛	沖縄国際大学経済学部教授	○

(※敬称略、五十音順)

□対象事業

- ・一般国道58号 なはきたどうろ 那覇北道路

□議事概要 (各委員からの意見)

【一般国道58号 那覇北道路】

- ・沖縄振興に繋がる事業なので工期を短縮して、早期の整備を進めてほしい。
- ・国道58号那覇市内の渋滞については、かなり緩和されると思うので、是非、事業を進めてほしい。
- ・概ね10年後の開通目標ではなく、事業のスピードアップに努力してほしい。
- ・那覇北道路は、自動車専用道路であるため歩道がない。沖縄らしい風景を歩道から眺めることができないのは残念である。沖縄の特徴を生かし景観に配慮した道路をつくってほしい。
- ・沖縄には産業道路がなく、一般交通と産業交通が混在している。大型車交通が多く、一般車両や歩行車が利用しづらいので、使い分けについて検討してほしい。
- ・沖縄は台風の多い地域である。耐風安定性、耐塩害に強い構造物を作ってほしい。

□結論

一般国道58号 那覇北道路 の新規事業化については妥当である。